

eスポーツ推進を

熊本協会発足 健康影響も研究



設立総会後に会見する熊本eスポーツ協会のメンバー
＝16日、熊本市中央区

コンピュータゲームを使った対戦型競技「eスポーツ」を推進する「熊本eスポーツ協会」が16日発足し、

熊本市中央区のびぷれすイノベーションスタジアムで設立総会があった。競技の推進と併せ、ゲームによる健康への影響の研究・啓発にも取り組む。

熊本市教育委員会やNTT西日本熊本支店、熊本日日新聞社など9団体から理事が参加。崇城大の中山峰男学長が代表理事に就いた。

協会内に「推進部会」と「健康部会」を設置

した。推進部会は世界大会などに出場する選手の支援やeスポーツの普及活動、健康部会は精神科医らと協力してゲーム依存や腰痛といった健康問題の研究・啓発を担う。

中山代表は「eスポーツの人気が高まる中、熊本にも支援組織が必要と感じていた。健康問題の研究も進め、業界の健全な発展に貢献したい」と意気込みを語った。

昨年2月に発足した日本eスポーツ連合（JESU）の支部も兼ねる方向で手続きを進める。

（丸山伸太郎）